

# しゃきよう

Vol. 160

しゃきよう

社協は**社会福祉協議会**の略称です。みなさん「しゃきよう」と呼んでください。社協はだれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめています。



第一地区寿会の方と一緒に作っただんご木を使って、ポン菓子を作りました。そのお菓子を、毎週百歳体操に参加している方々へ届けてくれました！

子どもたちから地域の方へ  
嬉しいプレゼント

## もくじ

- 「ともに生きる力」を育む福祉教育……………②
- 中・高校生による雪かきボランティア……………③
- 地域の活動紹介……………④⑤
- ボランティア養成講座のお知らせ  
ボランティア活動保険加入について……………⑥
- 募金活動ご協力のお礼、  
しゃきようだよりに寄せられた声にお答えします  
サークル、寄付者紹介……………⑦
- 暮らしの声、プレゼントクイズ……………⑧



山形市立第一小学校 2年生

誰もが安心して暮らせるまちづくり



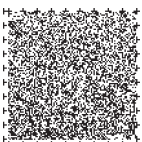
社会福祉法人  
山形市社会福祉協議会

山形市社協「声だより」

FM76.2 ラジオモンスター  
毎週日曜午前10時15分～放送中

〒990-0832  
山形市城西町二丁目2番22号  
TEL. 645-8061 FAX. 645-9236

<https://www.yamagatashishakyo.or.jp>  
ホームページ・ブログ更新中



音声コード

※音声コードは視覚障がい者のための、音声で内容をお知らせするコードです。

# これまでの活動紹介

## 山形市立第五中学校

生徒会の役員が地域に出向き、直接地域の方へインタビュー。



元気があっていいね!!

五中生のあいさつはどうですか?

五中生が地域に貢献できることは?



町内の行事に積極的に参加してほしいなあ。

## 山形市立第二小学校

第二地区高齢者小学生ふれあいのつどいにて、子ども達が考えた遊びをしながら素敵な交流ができました。

その時の様子をラジオモニター「しゃきょう声だより」で報告してくれました。



## 福祉教育応援ブックを活用下さい。

プログラムづくりのポイントや取り組み事例の紹介等をしています。

## 山形市立南山形小学校

児童会環境委員会が中心となり、アルミ缶・プラスチック回収の協力を地域にも広く呼びかけ2年間にわたり活動を行ないました。みなさんの善意がたくさん集まり、1台の車いすになりました。その思いのこもった車いすを、区内にある小規模特別養護老人ホームみこころの園に贈呈しました。



山形市社協では、毎年、小中高校を対象に、社会福祉への理解と関心を高めるための体験の場を持ち、助けあい・支えあいの地域社会づくりを推進していくための福祉教育校指定事業を行っています。

今年度は、小中高校26校が福祉教育校として活動します。

# 「ともにもに生きる力」を育む福祉教育

# 生徒の声

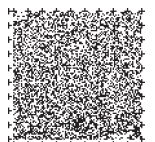
私は高れい者の体にはじめてなりました。ゴーグルをつけた時点で「なんなんだ」とびっくりしてしまいました。重りをつけた時も、すごく重くていつもの体の軽さが感じられませんでした。体に全部つけた時は、自分の体とはちがって、びっくりしました。くつをはく時も、関節がまがらないから30秒近くかかっちゃうくらいつらかったです。階段をのぼる時は、足を曲げられないから大変でも怖かったです。だけど、私のおはあちゃんが階段んがきらいな理由が分かったので、階段んの時はおはあちゃんを交えてあげたいと思いました。

わたしは「まず自分が幸せになることとして大切な人における幸せの輪は広がる」というのが一番印象に残っています。この言葉を大切にしたいです。

私は、みんなが「あわてにしたい」という気持ちと同じく、可哀想にひびきました。

福祉は介護などのことだけでなく、地域みんながよりよくなるようにする取り組みと知り、びっくりしました。「ふたんのくらしあわせ」が実現できるように私もがんばっていきたいです。

優しさをもって生活していきたいと思いました。



## 福祉学習のお手伝いをします！

ボランティアセンターでは地域や学校、職場での福祉学習のお手伝いをしています。

ボランティアや福祉に関する講座や研修会の開催、障がいの体験学習など幅広い要望にお応えしています。

- 福祉やボランティアについての学習のお手伝い
- 福祉教材の貸出・各種資料の提供（要申込）
- 講師や地域福祉活動の紹介など

### 物品(福祉教材)貸し出し品目一覧

#### 身体障がい者体験

- 車いす
- 聴力障がい者体験
- イヤーマフ(ヘッドホン)
- 視力障がい者体験
- アイマスク ● 白杖
- ゴーグル

#### 高齢者体験

- 高齢者擬似体験セット
- ひじ用サポーター
- ひざ用サポーター
- 足首用おもり
- 手首用おもり

1ヶ月前までに、電話・FAXでお問い合わせください。

相手を思いやる気持ちや、お互いに助けあい、支えあう生き方を知ったり、気づいたりする学びの機会は子どもの頃から大切です。

大人も子どもも自分の生活や身近な地域に関心をもち、自分たちのできる活動から参加してみませんか？  
ご連絡お待ちしております。

### ● 問い合わせ ●

山形市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
電話 645-9233 FAX 645-9236  
<http://www.yamagatashishakyo.or.jp/>



山形県立  
山形西高等学校  
スコップーズ

地域の人との  
触れ合いが大事！！

学校と地域が  
一緒にできるのが  
良い！！

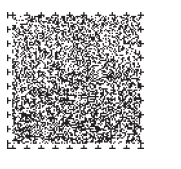
山形市内中・高校生による  
雪かきボランティア

厳しい寒さの中に咲いた  
笑顔の花

山形県立  
山形工業高等学校



山形市立  
第八中学校



# しあわせのために つめられています。

## 第十地区

### 「心・情報・笑顔のかけはし」を作りたい！ かけはしの会発足！！

城西3区にある「すみれの家」を拠点とし、近隣の福祉・教育・地域の関係者が集まり、誰でも気軽に集える場所があるといいなあという願いのもと、定期的に情報交換をしている会です。

1月に行われた交流会では、会のメンバーの他、隣接する町内の方や近くのグループホームひまわりに入居している方、山本学園のインターアクト部の学生さんなど18名の方が参加され、歌や体操も交えてお茶のみ話に花を咲かせました♪



#### すみれの家とは・・・

NPO法人すみれ会(代表:戸内美子氏)が運営する生きがいづくりの居場所です。



## 明治地区

### 支えあいの研修を開催しました

講師にご近所福祉クリエイターの酒井保さんをお招きし、地域の方々が支えあいについて学び考えました。「支えあい」は江戸時代に生まれた日本人の、向こう三軒両隣の精神だということ、地域でつながっていることが実はたくさんあるということなど、参加者が大きくうなずく場面がみられました。明治地区には昔からのつながりがあります。今後このつながりが更に広がっていくと感じています。



#### ご近所福祉 クリエイターとは・・・

2014年8月に「ご近所福祉クリエイション」を創設(主宰)。ご近所福祉クリエイターという肩書きのもと、広島と仙台を拠点として、全国各地を講演行動中。

## 第七地区

### 135人参加！地域福祉まるごと教室

～人にやさしく一緒に住み続けられる町づくり～

地域課題を住民活動により解決することを目的に、平成29年から3年間継続して認知症をテーマに実施しています。昨年度の「認知症の基礎知識」に引き続き、今年度は認知症の方への声かけ訓練の研修を行いました。

「実際に声かけをしてみて、とても参考になった」との声も聞かれました。



## 第六地区

### 介護について学ぼう！語ろう！

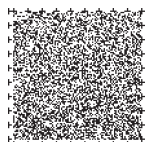
### 介護ふれあい交流会

### 地区内5カ所で開催

第六地区社会福祉協議会(成澤重行会長)が企画し、介護保険の手続きや介護施設のことを学びながら、情報交換を行いました。お互いの介護体験の悩みを話すことで少しでも気持ちが軽くなってほしい、また、これからの備えて介護について学びたい方が集まれるようにとの思いで開催されています。



### 介護ふれあい交流会



第九地区

メンバー募集中!! 男性同士の仲間づくりが一番大事!!

男性ボランティアグループ グッドライフ!!



電球交換、重い家具の移動、ちょっとした家電の手入れなど、介護保険サービスでは対応が難しい「高齢者のちょっとした困りごと」があることを知ったシニアの男性が、ボランティアグループを立ち上げました。力仕事やこれまでの職業経験を活かした活動をしています。

また、一緒にそば打ちをしたり講習会に参加したり、共に学びながらメンバー同士の交流を深めています。現在は第九地区在住者中心のメンバー構成ですが活動は山形市全域です。興味のある方、一緒に活動しませんか?



ふだんの ぐらしの

地域福祉活動が進

西山形地区

「町内の福祉課題を話しあおう」  
地区合同三者懇談会 開催

地区内の三者(町内会役員・民生委員児童委員・福祉協力員)が一堂に会し、各町内に分かれ、福祉施設関係職員にもアドバイザーとして参加協力を頂きました。

除雪、通院、買い物及びごみ出しの対応などたくさんの課題が出され、これらについては参加者同士「我が事」としてとらえ、解決に向けて取り組んでいきたいと話し合いました。

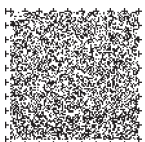


本沢地区

派遣回数32回  
元気もりもり応援隊

自分たちの特技を活かして地域の「サロンに応援に行こう」と医療機関や福祉施設で働く専門職員が検討をくり返しながら平成27年11月に発足しました。応援隊キャラクターは、地区の特産品である葡萄にちなんで、隊員が製作した「デラおう」。平成28年1月に活動を開始し、もりもり応援隊登録者は28名、事業所も10カ所になりました。

この活動をきっかけに、住民の方が事業所のことを知り、隊員や事業所も住民の暮らしや思いにふれる事ができて身近な関係になっています。



高瀬地区

高齢者支援連絡会



地域組織が一丸となって、高齢者の生活上の困りごとや介護予防を考える話し合いを進めています。最近では、地域内にある介護施設と一緒に、買い物支援の方法を検討したり、気軽に運動が出来る場の企画・運営を進めています。

【構成員】

- ・振興会
- ・地区民生委員児童委員
- ・高瀬コミュニティセンター
- ・生活支援コーディネーター
- ・地区社会福祉協議会
- ・地区福祉協力員連絡会
- ・地域包括支援センター大森等

# ボランティア養成講座

●お問合せ申し込み先  
山形市社会福祉協議会ボランティアセンター  
TEL: 645・92333 FAX: 645・92336  
月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

●会場  
山形市総合福祉センター  
3階会議研修室1  
山形市城西町二丁目2・22

電話でお申込みください

## 山形市手話ボランティア養成講座

聴覚障がい者やその方々の生活、及び福祉制度等を理解し日常会話に必要な手話語彙(ごし)と手話表現を学びます。

### 開催期間

2019年5月15日(水)～  
2020年2月19日(水)  
毎週(水)午後7時～午後9時  
全40回講座  
(祝日・年末年始を除く)

### 対象・定員

山形市在住で、初めて手話を学ぶ方で、全日程参加可能な方30名

### 参加費

8,240円  
(テキスト代、講師料等)

### 締め切り

4月26日(金)  
午後5時まで



第33回 ボランティアスクール～傾聴講座～  
ボランティアって何？から始める入門講座  
開催期間

8/1 (木)	修了式(修了証書授与)・懇談会
7/26 (金)	施設実習
7/25 (木)	施設実習
7/24 (水)	施設実習
7/18 (木)	施設実習に向けて
7/11 (木)	車いす体験
7/4 (木)	高齢者体験
6/27 (木)	「心を開く話し方、聞き方」応用編
6/20 (木)	「心を開く話し方、聞き方」入門編
6/13 (木)	音楽療法体験
6/6 (木)	色彩心理セミナー
5/30 (木)	開講式 オリエンテーション

### 参加費

1,000円  
(ボランティア活動保険代・昼食代等)

### 対象者・定員

ボランティア活動に関心のある方で、全日程参加可能な方30名

### 締め切り

5月17日(金)午後5時まで

## ボランティア活動保険に加入しましょう

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。活動前にぜひご加入下さい。保険料は年額350円から加入できます。

### 補償期間(保険期間)

2019年4月1日午前0時から2020年3月31日午後12時までとなります。年度途中の加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から2019年3月31日午後12時までとなります。

### 補償金額(保険金額)

保険金の種類		ご加入プラン・補償金額
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)
	入院保険金日額	6,500円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円
	通院保険金日額	4,000円
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)
年間保険料	基本タイプ	Aプラン 350円

※その他、内容充実Bプランや天災タイプもあります。

### 補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされた場合や、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたことにより法律上の賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。

### ケガの補償



清掃ボランティア活動中、ケガをして通院した。

### 賠償責任の補償



家事援助ボランティア活動中、誤って花瓶を落としてこわした。

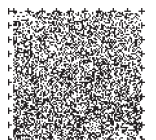
ボランティア活動中、交通事故にあつて亡くなられた。



自転車でボランティア活動中、交通事故にあつて他人にケガをさせた。



詳しくは、山形市社協ボランティアセンターまで





## 「やすらぎの里農園」利用者募集

山形市内にお住まいの方々に施設内農園を開放し、農作業を通じて入所者と交流、健康増進を目的とします。



- 利用期間** 2019年5月1日(水)～2019年12月31日(火)
- 農園** ケアタウンやすらぎの里金井敷地内
- 対象** 山形市内にお住まいの方
- 区画面積** 約10坪(20区画)
- 利用料** 無料(年1回耕します)
- 受付日** 2019年4月11日(木)・12日(金) (午前8時30分～午後5時30分)
- 申込方法** 申込用紙にご記入いただき、やすらぎの里金井の窓口で受付いたします。
- 問合せ先** ケアタウンやすらぎの里金井  
山形市内表東1番地 ☎681-5711 (寒河江・増川)

## 赤い羽根共同募金・ 歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

■共同募金運動募金額 (2018年10月～2019年1月)

<b>募金総額</b>	<b>43,355,675円</b>
<b>赤い羽根共同募金</b>	<b>34,531,399円</b>
<b>歳末たすけあい募金</b>	<b>8,824,276円</b>

赤い羽根共同募金運動は第二次世界大戦後、昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まりました。「困ったときはお互いさま」の気持ちから運動がスタートし、現在では地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「自分の町を良くするしくみ。」として地域のさまざまな福祉活動に使われています。

## 今こそ自分らしく生きてみませんか? サークルJプロジェクト

～今悩んでいる 性同一性障害の方に～

生まれた時は、自分の意思と関係なく性が決まっています。でも中には、体の性と心の性が違っている事があります。これは決しておかしい事ではありません。今後の自分たちのため、思いを実現するため、どのようにすべきかを、みなさんと一緒に語り合い、考えていく場を作れたらと思います。さあ、仲間づくりに参加してみませんか? お気軽にご連絡ください!

●問合せ先  
**山形市社会福祉協議会福祉のまちづくり第二係  
福祉まるごと相談員**  
TEL:645-8061

## しゃきょうだよりに 寄せられた声にお答えします!

「しゃきょうだより」のページ下にあるQRコードのようなマークは何でしょうか?

視覚障がい者の方が活字情報を読み取る為の音声コードです。このコードを専用の機械(写真参照)に読み込ませると、文章を音声で読み上げてくれます。

音声コード識別のため、切込みが入った「しゃきょうだより」をご希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。



●問合せ先  
**山形市社会福祉協議会  
福祉のまちづくり第一係**  
TEL:645-8061 FAX:645-9236

## 寄付および賛助会員の募集

TEL 645・9230  
FAX 645・8015

先までご連絡ください。必要な手続きをお伝えします。

ご協力下さる方へ

会費	
個人	三、〇〇〇円以上
団体	一〇、〇〇〇円以上
法人	一〇、〇〇〇円以上

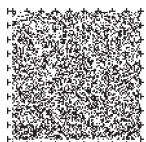
住民参加のまちづくりを進めるため、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

●山形市協新規会員紹介  
●賛助会員  
●金澤一男

- 匿名
- 藤田操
- 宇治川優子
- JA山形女性部出羽支店
- 大栄設備工業株式会社
- 東日本高速道路株式会社
- 生活協同組合共立社
- 第十地区老人クラブ連合会女性部
- 株式会社ニラク吉原店
- スーパー1円劇場山形店
- 物資・労力
- 若草スポーツクラブ
- 真宗大谷派山形教務所
- 山形市善意銀行
- 現金預託
- 山形市善意銀行
- 宗教法人真如苑

やさしいきもちを  
ありがとうご寄付者紹介

みなさんからの厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄付につきまして、2018年12月1日から2019年2月28日までの分を掲載いたします。  
(敬称略・順不同)





市民の皆様からいただいた声を、ひとつひとつ大切に。

# 暮らしの声

しゃきょうだより

4月

／ たくさんの方の「暮らしの声」をいただきました！  
その一部をご紹介します！

## 思い立ったらやってみよう

- 近所の高齢者宅の雪を片づける手伝い。(30代女性)
- 近所の方々とコミュニケーションを図り、住みよいまちづくりに協力して行く事。(50代女性)
- 物を増やさない生活。しかし、しゃきょうだよりは最低一年分手元に置く。(80代男性)
- 断捨離。(60代男性・60代女性・50代女性)
- 家族と出かける。(9歳女の子)
- コミを見つけたら拾う事。(10代女性)
- あいさつをして、一言声がけするようになりたい。(60代女性)
- 近所の人や周りの人に気軽にあいさつをする。(9歳女の子)

## 金井地域包括支援センター 開設！

山形市社会福祉協議会では、2019年4月1日に山形市より新たに委託を受けて「金井地域包括支援センター」事業を開始しました。

金井地区の皆様的身近な高齢者総合相談窓口です。お気軽にご相談ください。

● 住所 山形市大字陣場903 金井コミュニティセンター内  
● 電話：664-2181 ● FAX：664-2182

## ちがうところはどこ？

上と下の絵で5つのちがうところをさがしてね！



ちがうところはどこ？ 1月号 (vol.159) 答え

- ① 愛ちゃんのリボンの模様
- ② 希望くんの髪の毛
- ③ 右上の男の子の汗の数
- ④ おしぼりの有無
- ⑤ 後ろ向きの男の子のポケットの数



愛ちゃんと希望くん。

## クイズを答えて Present プレゼント！

山形市総合福祉センター  
「かすみが温泉」  
利用券(4名分)  
抽選で20名様

○に当てはまる文字を入れてください。  
ヒントはP7をよくみてね

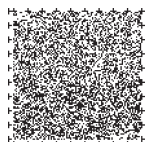
クイズ：視覚障がい者のための、音声で内容を知らせるコードの名前は「○○コード」

- 応募方法／ハガキにクイズの答えと必要事項を記入し、「福祉のまちづくり第一係」までお送りください。当選は発表をもってかえさせていただきます。
- 宛先／〒990-0832 山形市城西町二丁目 2-22 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会 「福祉のまちづくり第一係」あて
- 締切／2019年4月30日(火) (当日消印有効)

- ① クイズの答え
- ② 住所
- ③ 氏名
- ④ 年齢・性別
- ⑤ 電話番号
- ⑥ 暮らしの声『支えあい活動をする時に大切だと思う事』
- ⑦ 「しゃきょうだより」の感想



1月号 (Vol.159) クイズの答え  
『福祉文化』



音声コード

社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は7月号です。